

令和元年度 教育委員会点検評価委員会 議事録

1 開会及び閉会の日時

令和元年9月11日(水) 午後1時～午後4時

2 場所

井波庁舎 301会議室

3 点検評価委員

- | | | | |
|-----|-------|-----|-------|
| ・委員 | 土田 信久 | ・委員 | 武部 範代 |
| ・委員 | 宮川 義文 | ・委員 | 畠中 昌代 |

4 説明出席者

- | | | | |
|-------------|-------|---------------------|-------|
| ・教育長 | 松本 謙一 | ・教育委員会教育部長 | 村上 紀道 |
| ・教育総務課長 | 氏家 智伸 | ・教育部参事こども課長 | 武田 秀隆 |
| ・生涯学習スポーツ課長 | 桜野 高弘 | ・ブランド戦略部次長文化・世界遺産課長 | 此尾 治和 |
| ・教育総務課主幹 | 堀 桂子 | ・教育総務課主事 | 勇崎 夏希 |

5 傍聴者

なし

6 会議の要旨

午後1時00分、教育部長が開会を宣し、議事に入る。

1 開会挨拶(松本教育長)

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。昨年一年間の教育委員会の事業につきまして、色々な視点から評価、それからご意見をよろしく願いたいと思います。そのご意見を参考に教育行政を改善していきたいと思っております。本日はよろしく願いたいと思います。

2 出席者紹介

3 報告書の説明と質疑・意見

基本目標「1 豊かな心を育む学校教育の充実」

基本施策(1)確かな学力の育成 関係

○点検評価委員 利賀地域の短期山村留学の参加者について、平成29年度の13名から平成30年度は31名と大幅な増加となっている。何か戦略があったのか、それとも広報活動が良かったのか。どのような理由が考えられるか。

○事務局 平成29年度は事業開始初年度であり、知名度が低かったということが考えられる。また、この事業を委託している公益財団法人育てる会は、全国で同様の事業を手がけており、その関係者へも周知していただいた。首都圏からの参加者に対して交通費の補助を始めたことも理由にあると思う。

○点検評価委員 電子黒板などを小中学校に整備する事業があるが、現在、電子黒板や教材提示装置はどの程度整備されているのか。以

前電子黒板を使ったときは、とても使いやすくて、大変助かっていた。

○事務 局 設置率は、資料を持っていないので明確に回答できないが、令和3年度までの整備計画で順次整備を進めている。一台も設置していない学校はなく、現在、整備計画の最後の仕上げに向けて取り組んでいる。

○点検評価委員 電子黒板ではなくても、教材提示装置が学級ごとにあると非常に助かると思う。簡単に設置できるマグネット付きのスクリーンを使うなどして、日常的に使えるように整備していけば、先生たちにも子どもたちにもとても役に立つと思う。

○事務 局 教材提示装置も計画の中に入っている。

基本施策 (2) 自他を尊重し、他を思いやる心の育成 関係

○点検評価委員 「南砺市いじめ防止基本方針を改定」とあるが、具体的にどのように改定したのか。

○事務 局 国や県がいじめ防止基本方針を策定した流れで南砺市も策定した経緯がある。国や県の方針の中でいじめに対する見解や見方が変わってきたため、合わせて南砺市も改定した。家庭・学校・地域・市教育委員会の4本柱を基本に連携して、いじめの根絶に取り組んでいくというところが特徴になっている。

○事務 局 いじめの定義が国の方針の中で明確にされた。いじめが止んでから3ヶ月以上経過しなければ、いじめを解消したとは見なさない。3ヶ月以上いじめが止んでいることが解消の定義とされたため、それを記載した。重大事態発生時の第三者委員会の設置についても、改めて明確に記載した。

○点検評価委員 適応指導員やスタディメイトなど、色々な方に学校教育に関わっていただいているが、スタディメイトの数が平成29年度から大きく増えている。支援が必要な子どもの人数が増えたのか、短時間勤務の方が多いなど時間的な関係で増えているのか。

○事務 局 両方の要素があると思う。

○点検評価委員 幼稚園や保育園から小学校に入学するときの橋渡しが非常に大事であり、幼保小の連携の重要性を感じた。スタディメイトの方の関わり方も大事になってくると思う。

○事務 局 早期支援コーディネーターという職種の方が幼稚園、保育園と小学校との連携や、円滑な情報の引き継ぎの仕事をしている。

○点検評価委員 小中学校の「学校図書館月平均貸出冊数」について、中学校は変化なしだが、小学校は5冊から4.3冊に減っている。0.

7冊の減少は大きいと感じている。この指標を達成することは大変難しいと思うが、貸出冊数を増やす方策は何か考えているのか。

○事務 局 学校図書館司書助手を配置しており、勤務時間は平成29年と比べると増えている。学校図書館司書助手の方々には少しでも貸出冊数が増えるように努力していただいております、今後も、先生方の協力を得ながら貸出冊数の増加に向けて取り組んでいきたい。図書整備事業では、毎年新たな図書を購入している。この事業費については、近隣の市と比べても決して少なくない金額になっている。

○事務 局 南砺市の小中学校で図書購入にあてる市の予算は他市と比べても多い。しかし、新しい本を買うだけでは貸出冊数が増えないので、学校図書館司書助手や先生方にご協力いただくほか、市立図書館でも本を借りたくなるような事業を合わせて行っている。

○教育 長 これだけの減少を誤差と見なすのか、または傾向と見なすのか、傾向だとするなら適切な指導が必要ではないかというご指摘だと思う。教育委員会からも校長がリーダーシップをとって働きかけるよう校長会を通して伝え、市立図書館と連携を図りながら対応にあたっていきたい。

基本施策 (4) 学校教育環境の整備 関係

○点検評価委員 ICTに関わることについて、学校の現場では通信回線が貧弱で、一斉に使用したり遠隔授業をしたりする際に問題が生じて、円滑な授業が行えないという話を聞いたことがある。通信回線の強化について、今後の南砺市の見通しはどのようになっているか。

○事務 局 それらの問題は事務局側でも把握している。これから時代が進むにつれて扱う情報量も増えるので、やはり回線は太くなければ将来的に厳しいと思っている。業者と相談をして改善できる方法はないかということも探っている。回線の問題か、機器の問題か、または今後の技術革新でより良い方法がでてくるか、様々な可能性を探りながら進めていきたいと思っている。

○点検評価委員 技術の進歩もあると思うので、どれが最適かを毎年検討しながら着実に進めていっていただきたい。

ICT 遠隔協働学習事業について、2年ほど前に公開授業を見学させていただいたことがあり、その時は井口中学校と利賀中学校の授業だった。定期的にそういった授業を実施しており今後も日常化していくということだが、現在はどれくら

いの頻度で行っているのか。

○事務 局 当初は実証事業として行っていたが、現在は実証実験は終えており普通の授業として行っている。また、ICT サポート業務委託をしており、ICT 遠隔協働学習を行う際に、外部の専門業者に機器関係のサポートをお願いしている。この委託料は毎年減少しているのので、先生も生徒も慣れてきてサポート無しでもある程度使用できるようになってきたということだと思っている。最近は学習だけでなく、運動会の打合せなどにも使用したという話を聞いているので、有効に活用していただいていると思う。

○事務 局 具体的な数字で言うと、年間約30時限程度は授業していたと思う。

○点検評価委員 リースで現在4年目とあるが、5年目が終わったあとも引き続き継続するのか。

○事務 局 継続していく。

○点検評価委員 トイレの洋式化については、「大規模改修や長寿命化の工事と合わせて」更新するとのことで着実に達成されていると思うが、それらの工事が無い学校はそのままになるのか。和式トイレしかない学校はあるのか。

○事務 局 大規模改修や長寿命化の工事と合わせてとは書いているが、そうではない場合ももちろんある。今年度も工事とは関係なく、福光中学校のトイレを洋式化しており、着実に進めていきたいと思っている。

○事務 局 洋式トイレが無い学校はない。

基本目標「2 生きがいある暮らしのための生涯学習の推進」 基本施策 (1)生涯学習活動の推進 関係

○点検評価委員 主な指標の「各種講座参加者数」について、過去の資料を見ると、平成25年度の参加者数は約11,000人で、平成29、30年は約9,000人となっている。減少の理由としてどのようなことが考えられるか。

○事務 局 講座の数は変わらない。人口が減ったことが多少影響している可能性はあるかもしれない。パーセントで表したら影響しているかどうか分かると思うが、人気のある方を講師として呼べば参加者は確実に増える。

○教 育 長 少しでも多くの市民に文化的な体験をしてほしいと思い、担当課共々、毎日良いアイデアがないかと考えている。

○点検評価委員 資料を見ると、子どもに関係する体験活動は参加者が増えているようなので、その方向性は今後も続けていただきたい。著名な方の講演会というのは確かに参加者が増えると思う

が、その他の講座でももう少し参加者が増えるとよいと思う。

- 事務局 参加者が増えるような企画を検討していきたい。
- 点検評価委員 市民大学講演会は日中に開催されているのか。
- 事務局 皆さんが参加しやすいように日曜日の14時から開催している。
- 教育長 参加費も必要ないので、色々な方に呼びかけてほしい。心が豊かになると思う。ご協力をお願いしたい。
- 点検評価委員 高齢者大学とあるが、何歳を想定しているのか。
- 事務局 以前は高齢者大学という名称だったが、誰でも参加しやすいように緑の里講座という名称に改名した。対象は50代からを想定しているが、数年前は20～30代の方が参加していた時期もあった。
- 点検評価委員 緑の里講座は日中に開催されるのか。
- 事務局 緑の里講座は高齢者の方が参加しやすいように明るい日中のうちに開催しており、4地域で順番に回している。扱うテーマも豊富で、内容も充実した良い講座だと思っている。
- 点検評価委員 活動としてはとても良い事業を行われているので、あとはどうにかして参加者を増やすだけだと思う。
- 事務局 周知方法が課題だと思っている。
- 点検評価委員 市の広報誌が配付される時は、色々なものが全て挟まれていて、ひとつひとつが目につきにくいように思う。
- 点検評価委員 南砺市全域のことが載っていても、自分に関係のある部分しか見ない人もいると思う。どちらかと言うと回覧板の方がよく見るので、そちらの方が効果があるのではないかと。
- 事務局 市の広報誌の他にホームページにも掲載していて、実はホームページからでも申込みができる。あとはフェイスブック等のSNSへの掲載、各社会教育施設、文化施設などでもチラシを設置しているが、今後は周知方法を工夫していく。
- 点検評価委員 今後の取組と改善点に、「年間図書貸出冊数の目標値達成に向けて、高校との連携事業をさらに推し進める」とあるが、高校との連携とは具体的にどのようなことか。
- 事務局 福光高校にご協力いただき、中央図書館で色々な活動を実施している。
- 事務局 ポップづくりもしてもらっていると思う。
- 事務局 高校生による読み聞かせ活動もしている。
- 点検評価委員 市立図書館については、貸出冊数を増やすため、例えば年間で〇冊以上借りた方は南砺市オリジナルの葉をもらえるといたような取組みをしてみてもどうか。
- 事務局 現在そのような取組みはしていないので、実施してみるの

もよいかもしれない。

○教 育 長 今後の方向性の一つとして、学校図書館と市立図書館との連携にも今以上に取り組まなければいけないと思っている。現在、市立図書館では入館者数を増やすために色々と工夫している。普段、図書館を利用する習慣のない人にも入館するきっかけになればと、ねつおくり祭りの際にも時間を延長して開館している。

○点 検 評 価 委 員 図書館に来る年代は小さな子どもたちとその保護者が多く、働く世代は少ないと思う。さらにその上の年代になれば来館は増えるので、若者や働く世代が来たくするような施策が必要だと思う。南砺市オリジナルの葉を配る案も含めて、入館の少ない年代を少しでも増やす方向の施策を検討していただければよいと思う。

○点 検 評 価 委 員 例えば、緑の里講座のような講座を図書館で開いて、その講座の関連本を紹介するのはどうか。講座に参加してもらった流れで本を借りることもでき、貸出冊数も増えるのではないかな。

○事 務 局 テーマに合う本を事前に図書館に相談すれば、それを講座で紹介し図書館で貸出していることも案内できる。

○点 検 評 価 委 員 現在は申し込めば他の図書館から本を取り寄せることもできるので、様々な関連本を準備することもできると思う。

○教 育 長 会場が図書館ではなくても、図書館に行けばこんな関連本を借りられるというチラシを追加して配ればよいと思う。イベントと連携させることは大変かもしれないが、試す価値はあると思う。

○事 務 局 提案してみる。

○事 務 局 ほとんどお金もかからないので、すぐに取り組めるかと思う。

基本施策 (2) 公民館活動への支援 関係

○点 検 評 価 委 員 今後の取組と改善点に、「公民館連合会は解散するが、新たに生涯学習連絡協議会を設立し」とあるが、メンバーはかなり変わるのか。

○事 務 局 旧の南砺市公民館連絡協議会のメンバーが半分以上を占めている。各地域づくり協議会の中に生涯学習を推進する部門を作っておられるので、その中から担当者を選んでいただき、加わっている。

○点 検 評 価 委 員 南砺市の公民館連合会は解散しても、県の公民館連合会はそのままだと思う。県の公民館連合会には引き続き加入していくのか。

○事務 局 名称は変わったが、生涯学習連絡協議会として県の公民館連合会には引き続き加入していく。上の団体とのつながりは途絶えてはいない。教育委員会としては、生涯学習の活動は今後も取り組むべき活動のひとつとして捉えており、公民館という名称が無くなっても活動は続けていく。県の公民館連合会やその上の連合会にも生涯学習連絡協議会として引き続き参加し、地域の生涯学習の振興に役立てていく。

○点検評価委員 事業は引き継ぐ形になるのか。

○事務 局 公民館のときのような事業はないが、情報はお伝えする。

○点検評価委員 主な事業に記載されている内容なども来年度から変わるのか。

○事務 局 地区公民館活動を支援するために交付していた活動交付金は、全て地域づくり協議会に割り当てられている。また、公民館連合会の活動補助金については、生涯学習連絡協議会の活動補助金として予算付けされている。それらを活用して様々な事業をしていただくことになる。

基本目標「3 健やかな心と体を育む生涯スポーツの推進」

基本施策 (1)各種スポーツ大会・教室の開催 関係

○点検評価委員 チャレンジデーin などについて、町内会でも色々を行っているが、もっと参加しやすい企画はないのか。

○事務 局 各地域のスポーツクラブと連携して、どのような企画が参加しやすいかを毎年協議しているが、なかなか参加率の向上には繋がらない状況となっている。天候にも左右されるイベントではあるが、今後どのように参加率を増やすかが課題である。しかし、色々と広報活動も実施しているので、もう少し参加してほしい。

○点検評価委員 女性の立場からすると、イベントの情報があまり目に触れないような気がする。

○事務 局 おそらく回覧板でも回していると思うが、あまり意識して読まれていないのではないかと思う。広報としては、ポスター作成のほか、各企業をまわって説明なども行っている。それでもなかなか参加率に繋がらない。

○点検評価委員 口コミとかラインとかのネットワークで連絡がきて、家族を誘って出かけることがある。また流行りの SNS で知り合いから情報がきて動き出すというケースも若い人たちには多いと思うが、そういう手段を用いた広報はされているか。

○事務 局 フェイスブックなどの SNS でも広報している。参加したら楽しいが、参加するまでが億劫なのだと思う。

○点検評価委員 水曜日限定なので働いている人たちや子どもたちは夜の時

間帯しか行くことができない。仕事から帰ったあと出かける気持ちにならない人もいるのかもしれない。

○点検評価委員 施設利用が有料化されるかもしれないという話を聞いた。「総合型地域スポーツクラブ加入率」や次ページに「スポーツを行っている市民の割合」という指標があるが、施設利用の有料化によって、せっかく伸びてきたこれらの率や割合が低下しないか。有料化は決定事項なのか。

○事務局 市として利用者から使用料を徴収するという方向性になっている。その影響による加入率や割合の低下を最小限にするにはどうしたらいいかを現在検討しており、スポーツクラブや他団体とも協議している。

○点検評価委員 財政的な問題で使用料を徴収しなければいけないということなのか。

○教育長 スポーツ施設の維持管理には多額の税金が使われており、現在の状況では、スポーツクラブ加入者だけが税金の恩恵を受けていることになる。これに対し、加入者も払うべきだということで有料化の方向となった。全国的に見ても南砺市はかなりの税金を使っており、加入者も使用料を払うのが一般的になってきている。影響は最小限にしたいので、そのためにはどうしたらよいかを教育委員会、それから市役所全体で考えている。

○点検評価委員 スポーツクラブに加入している人もしていない人と同じように払うのか。

○事務局 そこをどうしたらよいか現在協議中である。

○点検評価委員 払うことは決定しているのか。

○教育長 変えなければいけないことは間違いない。ただそこをどの程度変更するのか、急な変化にならないよう割合を変えていくのかなどを真剣に検討している。現状はそのような方向で進んでいるということでご理解いただきたい。

○点検評価委員 クライミングセンターは指定管理になったのか。

○事務局 城端のクラブ Joy が指定管理者だが、現在は譲渡対象になっているので、全国から利活用提案を応募している。

○点検評価委員 あまり他にない良い施設だと思う。

○事務局 使用する競技が限定されていることもあり、現在は利活用提案を公募中だが、買い手がつかない場合は引き続き指定管理者で維持管理していくことになると思う。

基本目標「4 魅力ある芸術文化活動の振興」

基本施策 (3)文化ホール・美術館などの事業の充実 関係

○点検評価委員 主な指標の「文化ホール等利用者数」について、過去の資料

も合わせて見ると、利用者数が年によって大きく変動している。指定管理者の自主事業として様々な活動を各会場でされていると思うが、事業によってこれだけの人数が変動するのか。

○事務 局 自主事業で有名な方を呼んでも、すぐ満席になるケースもあればなかなか満席にならないケースもあり、利用者数には波がある。

○点検評価委員 この指標については、市としての目標値も指定管理者頼みのところがあるように思える。昨年は目標値を超えているので問題はないが、指標として疑問を感じる。

基本目標「5 文化財の保存・活用と伝統文化の継承」

基本施策 (2)文化財収蔵・展示施設の機能充実 関係

○点検評価委員 主な指標の「改修済みの文化財収蔵施設数」について、前年度と現状に変更がないので、平成30年度は改修しなかったということか。

○事務 局 改修していない。

○点検評価委員 あと一箇所は具体的にどこのことを指しているのか。

○事務 局 現在福光にある施設で、臨時職員の方に遺物等の整理を行っていただいているが、かなり古いので整備したいと考えている。予算や公共施設再編の関係もあり、整備が進んでいない状況にある。

○点検評価委員 これは収蔵するだけの施設なのか。

○事務 局 そうなる。

○点検評価委員 どこか別の収蔵施設に移せばよいという話ではないのか。

○事務 局 その施設で修復とか色々な作業をしているので、場所が変わると移動が大変になる。展示もしながら収蔵もし、作業もできるのが一番理想的であり、そういうことも施設管理の方と協議しながら進めている。

○点検評価委員 点検及び評価に「展示資料と体験教室教材が充実した」とあるが、充実したということは昨年度に加えてさらに体験の内容が増えたということか。

○事務 局 新しい展示物としては、主な事業の部分に写真を掲載しているが、国の補助事業を受けて南砺市で出土した遺物を復元して、複製物を作った。体験の方でもいくつかメニューを増やしたと聞いている。

○点検評価委員 以前伺ったときは10人位なら体験可能だと聞いたが、最近児童クラブも人が減っているので、10人くらいであれば児童クラブ単位で利用することも可能か。

○事務 局 ぜひ利用していただきたい。

- 点検評価委員 体験活動は子どもたちにも人気で、子育てしている親は常にそういったところを探している。もっとお知らせしていただくと利用したいと思う方も多くいると思う。体験料はどのくらいか。
- 事務局 材料代がかかるので、数百円程度いただいている。
- 教育長 30人程度は無理なのか。例えば歴史の勉強の一貫で、一学年が学級ごとに来て体験することはできないか。
- 事務局 見学する班と体験する班の2つに分かれてもらえば可能かもしれない。
- 教育長 カリキュラムの中に入れることができれば、子どもたちもきっと喜ぶと思う。
- 事務局 埋蔵文化財センターは井波にあるので、井波小学校にはよく利用していただいている。他の学校は移動手段とかの関係もあり、なかなか利用してもらえていない。委員さんが言われるように児童クラブで利用していただいているところはある。
- 点検評価委員 個人で行って、その日にすぐ体験するというのも可能か。
- 事務局 可能である。ぜひ利用していただきたい。

基本施策 (3)文化・歴史遺産の保存と活用 関係

- 点検評価委員 主な事業に「国登録文化財制度の活用」ということで3件登録申請したとあるが、これは登録されたのか、まだ申請段階なのか。
- 事務局 申請をして3件とも内定はもらっている。ただ、登録証が届かないと最終的に登録されたということにはならない。10日に県の方から連絡があり、数日中に官報に掲載されるのであった。その後、文化庁から登録証が届いたら正式に登録されたということになる。
- 点検評価委員 登録されれば、建物に関する維持管理費等が国から補助されるようになるのか。
- 事務局 指定文化財であれば補助が出るが、登録というのはその価値を認めるという意味になり、補助は出ない。箔が付くということになる。
- 点検評価委員 登録したら維持管理はどうなるのか。
- 事務局 維持はそれぞれの管理者に行ってもらおう。申請については、管理者から登録してほしいという申出があって、市から県を通じて文化庁に申請している。
- 点検評価委員 今後も年間2件程度ずつ申請するとあるので、申し出れば申請してもらえるのか。
- 事務局 歴史の背景や文化的価値を調査して認められれば申請がで

きるし、国の方からも登録される。

○点検評価委員 獅子舞の保存については、どこの地域も担い手不足に苦勞されていると思う。今後の取組と改善点のところに、「後継者の育成等に、市として協力できる部分があれば支援していく」とあるが、市として協力できる部分とは何かすでに分かっているのか。

○事務局 昨年から102団体ある獅子舞の団体に声かけをして、代表に集まっていただき、課題や問題、それに対する対策など、現状調査を含めた意見交換会を2回実施した。今年度は獅子舞共演会を初めて実施し、色々な団体に参加いただいた。その中で子どもたちにも体験してもらい、獅子舞に参加したくなるような雰囲気作りができたと思う。毎年開催することは難しいが、獅子舞共演会を開催することで獅子舞へのモチベーションを上げたり、共演会の中で各団体が競争して互いに高め合ったりできるような環境が提供できたと思う。あとはもっと悩みを分かち合う話し合いの場を設けていきたいし、獅子頭や油単を改修するときに補助金が出るので、そのような情報を伝えるなどして支援していきたい。委員さんが言われるように多くの地域が少子高齢で悩んでおり、今後102団体より増えることはないと思われる。如何にこの数を維持できるかが重要だと思っている。

○点検評価委員 獅子舞共演会については、色々宣伝もされていたし、後継者不足とか獅子舞文化の大切さとかを市民に共有できたところが良かったと思う。これからも続けてほしい。

○点検評価委員 私も獅子舞共演会は続けていくべきだと思う。

○事務局 各団体、本当に色々工夫されているので、情報交換会を開くととても喜ばれ、皆さん参考にされる。例えば固定されていた祭りの日を参加しやすいように土日にしたとか、男性だけで行っていたが女の子も参加を可能にしたところもある。あとは、青年会で行っていたがそれでは難しいということで地域の保存会にしたというところもあり、本当に色々工夫されている。

基本目標「6 子どもが健やかに育つ子育て環境の充実」

基本施策 (1) 幼児教育・保育サービスの充実及び支援 関係

○点検評価委員 現在、入園児が低年齢化している。0歳児や1歳児もかなりの割合で入園するようになり、本当に保育士が不足していると思う。産前産後休暇に入る保育士がいても、代員が派遣されない保育園もあるという話を聞き、そのような状態が一番心配だと思っている。待機児童がおらず、皆が幼稚園や保

育園に預けることができ、就労しながら無理なく子育てができる南砺市の現状は、子育てする親にとってはとてもありがたいことだと思う。その分、臨時職員が多く正規の保育士が少ないという現状がとても心配になる。特に10月から保育料の無料化が始まれば、これまでは家計を抑えるために短時間保育にしていたが、無料ならば標準時間保育にしようと思う親もでてくるのではないか。

○事務 局 保育料は無料になるが、標準時間保育か短時間保育かの認定はある。

○点検評価委員 短時間保育にしても標準時間保育にしても同じ扱いになるなら、これまでは4時半までに迎えにきていたが、もっと遅くなっても大丈夫だという感覚にならないか。

○事務 局 そうならないことを願っている。従来通り保育時間の認定があるので、親の働く時間によって利用できる時間が決まる。基本にその認定時間数があり、その時間分だけが無料になるので、短時間保育の方が標準時間保育になることはないが、心配な点である。

○点検評価委員 迎えに行く方が認定を受けた方とは違う場合もあり、標準時間保育の認定を受けていても短時間に止めていたケースもあると思う。短時間と標準時間の関係が崩れ、子どもたちが保育園にいる時間が長くなる可能性が高まらないか。

○事務 局 可能性として考えられる。

○点検評価委員 現状でも保育士が足りないということが書かれているのに、そのような状況になれば、さらに保育士不足に拍車がかかるのではないかと心配している。その一方で、保護者のニーズが高かった病児保育が10月から市民病院でスタートするというにはとても感謝している。あとは、勤務形態の改善が課題だと思う。男性が育児休暇を取れるような雰囲気づくりをしてほしいし、短時間勤務をとっていても、仕事量が多く短時間で帰れないという親もいるので、そういうところも見直してほしい。

○教 育 長 保育所だけでなく、小学校も中学校も足りない状況にある。人材が足りずたくさん採用することで若い先生が増え、保育所と同様、産前産後休暇や育児休暇に入っても代員をあてがうことができない状況にあり、喫緊の課題だと思っている。

基本施策 (2) 児童の居場所づくりの推進 関係

○点検評価委員 最近、子どもたちが変な人に声をかけられたという話が多くあり、気軽に子どもに声をかけられない状況にある。見守り隊などの専用の服を着ていれば子どもたちも判断できる

が、そうではない場合は子どもたちも判断できないと思う。高齢者になると危ないから早く家に帰るよう声をかけたりする人が多いが、そういった声かけもしていいのかわからない場合があり、地域の方も悩んでいる。高齢者の方たちも、子どもたちのために何かしてあげたいという気持ちがあると思う。専用のバッジを作成し、それを付けていけば声をかけてもよいというような取組みをしてみはどうか。

○教 育 長 その取組みも良いと思うが、それを付けて悪いことをする人が出てこないか心配になる。

○点 検 評 価 委 員 現在、地域包括ケアセンターでは、週1回のサロンの開催を31地区で実施しようという働きかけがある。高齢者のみのサロンとされているが、放課後にそこに子どもたちが来られるようにしてはどうか。近年、核家族が増えて親と子の関係しかない家庭も多いので、サロンで地区の高齢者と触れ合うことができれば、子どもたちが高齢者との接し方を学ぶ機会になると思う。学校の教員だった方にも加わっていただき、そこで子どもたちの宿題を見てもらうということをしてもらいかもしれない。全ての地区で実施することは難しいかもしれないが、最近では統合などで学校数も減り、地域とのふれあいが希薄になっていると思うので、子どもと高齢者がふれあえる場を提供できればよいと思った。

○事 務 局 そのような方法もあるということを経後の参考にしたい。やはり地域主体の子どもの見守りや、子どもの居場所づくりは大事だと思っているので、各地区で実施していただければとてもありがたい。小規模多機能自治が開始され、地域づくり協議会の教育や子育てに関する部会の中で取組みが広がればよいと考えている。地域主体の学童保育により子どもたちとふれあう中で、地域の方の顔が見えてくるという流れになれば理想的だ。例えば期間限定で実施するなど色々な方法があると思うので、相談があれば話を聞きたい。実際、大鋸屋地区で夏休みと冬休みに地域主体の学童保育を始められたという事例もある。そのような前例も紹介しながら、地域で子どもたちを育てる環境づくりを進めていきたいと思う。

○教 育 長 小規模多機能自治を活かして、地域の高齢者に見守ってもらいながら、そこに住む小学生が学年に関係なく交流できるような、昔ながらのかたちになれば理想的だと思う。それを31地区全部でやってほしい。

○点 検 評 価 委 員 南砺市は、放課後児童クラブや児童館・児童センターで6年生まで見ていただけるので、とても感謝している。他市で

は3年生までしか預かっていただけないところもある。

○点検評価委員 他市では無償なのか。

○点検評価委員 無償ではない。無償で実施しているところは南砺市の他にはほとんど無いと思う。ほとんどが一カ月分の利用料を支払わなければいけないし、6年生までは見てもらえない。そのため6年生まで見ていただける環境であることは大変ありがたい。今後、有料化する可能性はあるのか。

○事務局 検討すべき課題ではある。

○点検評価委員 以前こども課で実施されたアンケートにこの件に関する項目があった。その結果も踏まえて、有料化する可能性があるとは思っているが、有料化しても6年生まで見てもらえるなら子育てする親には喜ばれると思う。

○事務局 参考意見として、検討する際の材料にさせていただきたい。

基本目標「7 子どもへの喜びや生きがいもてる子育て家庭への支援」

基本施策 (2) 児童・子育て家庭相談の充実 関係

○点検評価委員 今後の取組と改善点に「児童虐待対応マニュアルの作成に取り組む」とある。現状で問題のある家庭もあるだろうし、子どもたちの保護が実際に行われることもあるのだと思う。様々なケースがあるため、このようなマニュアルの作成に取り組まれているのだと思うが、いつ完成するのか。

○事務局 少しでも早い方がよいのかもしれないが、今年度中の完成を予定している。

午後4時、議事が終了したので教育部長が閉会を宣した。

令和元年 月 日

南砺市教育委員会

教育長